

1 月 10 日 : VN 指数はさらに下落幅を拡大 (VN-Index -1.23%)

- VN 指数は寄り付き後 1,250 ポイント付近で推移していたが、やがて下落に転じて前日終値を下回り始めた。
- 主に銀行セクターの下落が前場の下落を主導した。
- 後場に入ると売りの勢いが加速し、下落幅はさらに拡大した。指数は最終的に 1%を超える下げを記録して本日の取引を終えた。
- 保険セクターを除くすべてのセクターが下落を記録した。特に金融セクターの下げが顕著であり、相場の重しとなった。
- 78 銘柄が上昇、338 銘柄が下落、40 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は大幅に改善し、50.9%増の 11.2 兆ドンとなった。

VN30 指数が下落を主導 (VN-30 -1.34%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、3 銘柄が上昇、26 銘柄が下落、1 銘柄が変わらずであった。
- SSB (+2.05%)、BVH (+1.02%)、CTG (+0.27%)のみが上昇した。
- 一方、HDB (-3.36%)、STB (-3.30%)、SSI (-2.87%)といった金融関連株が大きく下落した。

セクター・個別株の動き

- VCB(-0.54%)の CEO は同社の会見で、ベトナム国家銀行から与えられた目標と計画を達成したと述べた。貸付額の 13.7%増加に加え、総資産は 12.9%増加し、初めて 2 兆ドンを超えた。
- SCS(-2.65%)の 12 月の総輸送貨物量は 25,198 トンとなり、35 ヶ月ぶりの高水準、過去 3 番目の高水準となった。国外への貨物輸送部門が好調であり、2024 年全体では 267,369 トンを記録した。
- 外国人投資家は主に STB (-3.30%) を中心に、2,230 億ドンを売り越した。一方、買い越し銘柄はごくわずかであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。